

支援プログラム				
営業時間	9:00~18:00		送迎の有無	有
法人理念	子どもや高齢者が安全で安心して暮らせる、共生社会の実現を目指します。			
支援方針	<p>「自立」に向けて、学校でも家庭でもない第3の場でスタッフやお友達との主体的な活動を通して、社会に対しての自信、葛藤し調整する力をつけていくことを目的として、事業所毎に5領域に則した活動を提供していきます。</p> <p>※自立とは：自分で何でもできることではなく、必要な支援や援助を受けつつ、社会に対しての信頼感を育み、興味関心を元に主体的に社会活動へ参加していくことです。</p>			
支援内容				
5領域	低学年	高学年	中学・高校生	医療・重心
	健康・生活	ご家庭・学校と連携し生活リズムを整えていきます。安心して過ごせる場所を提供します。	自分と他者の心身を大切にすることをテーマに、清潔・调理・性教育等について学びます。	自分と他者を大切にすることの意味・具体例を、SSTや同年代の仲間とのやりとりなどの実体験を通じて学びます。
	運動・感覚	季節に合わせたゲームやサーキット、製作、感覚遊び等満遍なく提供し楽しく体験を積み重ねていきます。	楽しく主体的に身体を動かし活動する中で、様々な動きや感覚が育つよう活動を提供します。	制作や就労準備課題を通じ、目と手の協応・微細運動を行います。また、外遊びや外出などで身体を動かす機会を作ります。
	認知・行動	スケジュールの掲示やタイム等視覚的にわかりやすくし、納得して行動できるようにします。	子どもたちの興味関心に基づき、様々な知識や社会的なルールやマナーを視覚的に学びます。	個々の得意分野を深めるだけでなく、全体活動の流れにも意識を向けられるよう、視野を広げます。
	言語・コミュニケーション	安心して自分の気持ちを発信できるように、それぞれに合わせた発信の仕方を一緒に探していくます。	自分の気持ちを主体的に安心して伝えられるよう言語だけでなくツール等も使い支援します。	喜・楽の表現を深めるとともに、怒・哀の感情と向き合い、公の場で適切に他者に伝えるための方法をともに探っていきます。
	人間関係・社会性	見守りの中で、楽しく人と関わる体験を積み重ねていきます。簡単な当番の仕事を通して自信へと繋げます。	愛着信頼関係を基盤とし社会に対して信頼感を持って主体的に活動していくよう支援します。	自分の役割を見つけ、果たすことで、卒業後の人生の基礎となる自己肯定感・有用感を養います。
地域支援・地域連携	学校等のお子さんに関わる外部機関と必要に応じて連携し、統一したより良い支援方法を提案、共有していきます。			
移行支援	お子さんの年齢や特性に合わせた支援の中で、安定して主体的に社会活動に参加していくよう支援します。			
家族支援	モニタリングだけでなく、ご家族からの相談は隨時受け付け対応していきます。支援内容について専用アプリで共有し、統一した支援が図れるよう連携していきます。			
職員の質の向上	虐待、防災、感染症等、法令を遵守し支援の質を向上していくよう内部・外部共に研修を定期的に開催していきます。			
主な活動例	放課後タイムスケジュール		学休日タイムスケジュール	
	13:30一下校時間に合わせて送迎開始 自由活動・集団活動 15:00—始まりの会、集団活動 16:00—おやつ 16:15—自由活動 16:40—帰りの会 17:00—送迎開始 ※お子さんの下校時間により前後します		10:00—自宅へお迎え開始 11:00—自由活動・集団活動 12:00—お弁当 13:00—食休み、午後から利用児の自宅お迎え 14:00—始まりの会、集団活動 16:00—おやつ 16:15—自由活動 16:40—帰りの会 17:00—送迎開始	